

施設の自己評価

令和 6年度

園名:キングダム・キッズ西新井

施設全体目標 職員間の報告・連絡・相談を密にし、共通認識のもと保育を行えるように努める。
今年度の取り組みの評価 ・ミーティングや申し送りノートを活用し、情報共有することができた。 ・相談もその場でし合える環境だったので、その都度見直すことができた。

※自己評価実施後の施設ミーティング等で取り組んでみましょう
A B C Dの欄に○を付けてください
A：理解して十分に取り組んでいる B：概ね取り組んでいる
C：理解が不足し十分に組み合わせていない D：取り組めていない

R6年 8月 22日

R7年 2月 28日

項目	内容	評価				意見・改善案	評価				意見・改善案
		A	B	C	D		A	B	C	D	
子どもの権利の尊重	子どもの権利について職員全体で確認し、十分配慮している	○				・定期的に入権セルフチェックを行い、保育を振り返る機会を設けている。 ・静止しなければならない場面で否定的な声掛けなどをしてしまう時がある。 →改善策：肯定的な声掛けが行えるよう日頃から常に意識して保育に取り組むよう心掛ける。	○				・とっさに出てしまったり、気持ちに余裕がない時に発言してしまう。 →1日の活動の流れを見直し、余裕を持って保育を行うよう心掛ける。
	保育者は子どもに対して威圧的、命令的、否定的な言葉づかいをしていない		○					○			
	長期欠席の子どもの状況把握をしている	○					○				
	子どもの様子が気になることは関係機関に報告している	○					○				
	個人情報保護について職員全体で確認し、十分配慮している	○					○				
教育・保育計画	全体的な計画（教育課程やそのほかの計画を含む）は、園の理念、方針、目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえて、教育・保育の「ねらい」「内容」が総合的に展開されるよう編成されている（職員の参画のもとに作成している）	○				・全職員に周知できていなかった →改善策：新年度と年に数回見直せるようにマニュアルなどの回覧表に項目として追加し、必ず確認できるようにしていく。 ・ミーティングや日々の保育をする中で、気付いたことがあれば、情報共有している。	○				・文書一覧表に追加することで全ての職員に周知することができた。
	全体的な計画（教育課程やその他の計画を含む）をより適切なものに改めていくという姿勢を、全ての保育者が持っている。			○			○				
	指導計画を作成するにあたっては、一人一人の子どもの発達過程や状況、クラスの実態について、職員の共通認識のもとに作成している	○					○				
	一人一人の子どもの発達状況、月や期の目標、教育・保育の実態について職員間で定期的に話合う機会を設けている	○					○				
	就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料（保育所児童保育要録）を確実に送付し、情報共有を図っている										